

第105回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成19年6月15日(金) 13:30～16:30

場所：神戸大学深江キャンパス総合学术交流棟 5F会議室

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 岩松（鉄道総研），大崎（東京大），渡辺（FDK），増澤（茨城大，代理福長），
矢野（産総研），森下（東芝），平田（大阪大）

幹事 水野（信州大，代理脇若），村井（JR東海）

幹事補佐 鳥居（武蔵工業大）

オブザーバー 住倉（東京電機大）

提出資料

- 105-1 第104回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 105-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 105-3 技術会合開催規程（案）（小豆澤委員長）
- 105-4 リニアドライブ研究会のご案内（矢野委員）
- 105-5 委員会構成員変更(2007年2月～2007年6月)（小豆澤委員長）
- 105-6 平成19・20年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 105-7 平成20年全国大会シンポジウム課題提案取り纏め依頼（小豆澤委員長）
- 105-8 平成19年度リニアドライブ技術委員会活動報告（小豆澤委員長）
- 105-9 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会（NAD）活動報告（平田委員）
- 105-10 医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会（ECD）活動報告（増澤委員）
- 105-11 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 105-12 産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 105-13 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会（MLV）活動報告（森下委員）
- 105-14 第3回新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会議事録（平田委員）
- 105-15 第3回磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会議事録（森下委員）
- 105-16 第4回磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会議事録（森下委員）

議事

1 議事録確認

資料105-1を用いて議事録の確認を行い，承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料105-2を用いて，委員会名簿の確認が行われた。
- 2.2 資料105-3を用いて，小豆澤委員長より，6/5に開催された第85回D部門研究調査運営委の報告があった。他学会との共催研究会は著作権の問題があるため，対応する規程案ができた。学術情報システム・図書電子化システムを構築予定である。研究会の発表数及び資料予約購読者数が減少している。感謝状の柔軟運用と贈呈目安の変更が行われ，さらに各会合の経費明細の報告があった。
- 2.3 資料105-4を用いて，矢野委員より，10/25,26開催のLD研究会（東京）の原案の説明があり，承認された。会場費の支出についての議論があり，ECD,NAD委も併催であるが，ECDは協同委なので会場費が出ないのではないかと指摘があり，再確認することとした。会場費が増えそうな場合は，2つの研究会を並列開催，またはあとから部屋を増やす等の方法があるとのコメントがあった。
- 2.4 資料105-5を用いて，小豆澤委員長より，LD傘下の委員会構成員変更の状況について，MLV委に3名，NAD委に1名，それぞれ追加があったことの報告があった。
- 2.5 資料105-6を用いて，H19・20年度予定の確認が行われた。
 - (1) LD技委：12/7(東京)の予定が合同研究会と重なるため12/14に変更。
 - (2) LD研究会：10/18,19地方開催の予定を10/25,26東京に変更。
 - (3) ECD委：8/3,10/26,12/4の予定を追加。
 - (4) MDD委：10/19の予定を10/26に変更。
 - (5) NAD委：7/17,9/7の予定を追加。

(6) 関連会合：2008.3/19-21 電気学会全国大会(福岡), 2008.5/4-8 INTERMAG(Madrid, Spain), 2008.8/26-29 ISMB(奈良), 2008.8/27-29 D部門大会(高知)の予定をそれぞれ追加。SPEEDAM2008の予定を2008.6/18-20から6/11-13に変更。

3. 審議事項

- 3.1 資料 105-7 を用いて、小豆澤委員長より、全国大会シンポジウム課題提案についての説明があり、計画通り MLV 委より提案することとした。
- 3.2 資料 105-8 を用いて、小豆澤委員長より、本年度活動報告の草案の紹介があった。今回の研究会はのべ43+28=71名の参加であった。来年度の産業応用フォーラムはMDD委が候補であるが、次期委員会の様子も見ながら考えることとした。10月山梨見学会は不可能なので、東芝府中工場のMLV委及びMEL委の見学会に相乗りする形で実施を検討することとした。研究会発表件数が予定数に達するよう、各方面への協力の依頼があった。
- 3.3 次々回の電磁力シンポについて、小豆澤委員長より、信州大学・脇若氏に委員長を引き受けて頂き、長野で実施することとなったことが紹介された。恒例のようにLD技委後に電磁力シンポ実行委を開催する等、LD技委で完全バックアップすることを確認した。関連して、脇若氏にLD技委に1号委員として参加して頂くことが提案され、承認された。実際の活動は、来年の今頃から始めることとなる。
- 3.4 水野幹事より小豆澤委員長に、平成20年D部門大会の論文委員を決めてほしいとの依頼があった。これまで岩松委員が務めており、継続して依頼する提案があり、承認された。
- 3.5 大崎委員から、次回以降のLDIAについての方針を立ててほしいとの提案があった。2009韓国開催の次となる2011の開催場所の提案が必要であるため、欧州での心当たりがないか、Prof.Howeに打診することとした。国際組織委員会については、Prof.Howeが委員長、日本で secretariat group (大崎ほか)とするのが良いのではないかと意見があり、同じく打診してみることとした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 105-9～105-16 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上